

「夢を実現するために」



看護実習 於:県立熊野高等学校 看護科

特集

県立高校における

専 門 分 野

での学び



目次

- P4 展示・イベント
- P5 新属新種の大発見! ワカヤマソウリュウ
- P6 きのくにコミュニティスクール(橋本市)
- P7 きのくに教育めぐり(上富田町)

専 門 分 野



での学び

本県では、魅力ある教育を展開する中で、専門的な学びの充実に取り組んでいます。各学校では、企業・施設等との連携や、外部講師による特別授業、地域との交流など、創意工夫した特色ある学びを実践しています。

和歌山県立熊野高等学校 | 総合学科・看護科

看護 農業

「夢を実現するために」

熊野高等学校には、総合学科と看護科の2つの学科があります。総合学科には農業について専門的に学べる「グリーンマスター系列」があります。この系列では、果樹、草花、野菜、お米の栽培方法などの学習をすることができます。週に2回の熊高市では、授業や農業クラブで育てた野菜や花を販売しており、地域の方とのふれあいの場になっています。「ワークライセンス」や「フラワーアレンジメント」の授業を通して農業に関する資格も取得することができます。

県立高校で唯一の看護科では、看護師の国家試験受験資格の取得まで5年間という最短コースで学習します。高校1年生から教科「看護」の学習が始まります。確かな技術を身につけるため、「基礎看護」の授業は少人数制で授業を展開しています。今年の文化祭では、看護研究・手話クラブ(看護科生徒のみ所属)がハンドマッサージのブースを設け、実際に触れ合うことを大切にした取組で、好評でした。



和歌山県立南部高等学校 | 食と農園科

農業

「目指せ、農と食のスペシャリスト」

南部高等学校には、「食と農園科」に3つコースがあります。「園芸コース」では、農作物栽培のスペシャリストの育成を目指しています。販売実習を通して消費者が求める農作物について専門的な学習をします。「加工流通コース」では、食品加工のスペシャリストの育成を目指しています。食品の流通経路に関する内容だけでなく、最先端の加工機器を利用することで、加工食品の製造や食の安全性に関することについて専門的な学習をします。「調理コース」では、食のスペシャリストの育成を目指しています。農作物を自ら栽培することで、食材の知識を身につけることができます。日本料理、西洋料理、中国料理、郷土料理をそれぞれのプロの調理師から学びながら、高校卒業時には、調理師免許を取得することができます。

農業科は、農作物の栽培が中心と思われがちですが、南部高等学校の「食と農園科」は、加工、販売、調理など、様々な分野の学びを展開しています。



和歌山県立有田中央高等学校 | 総合学科福祉系列(介護福祉士養成課程)

福祉

「社会が求める福祉のスペシャリストになる」

有田中央高等学校総合学科福祉系列(介護福祉士養成課程)は、介護福祉士国家試験受験資格が得られる唯一の県立高校です。資格取得と高校生活の充実を目指したカリキュラムにより、一人一人の個性の伸長と学力の向上を図り、現代社会に求められる人材を育成しています。社会福祉やコミュニケーションに関する基礎的な知識と技術を習得し、生活を支援するための介護技術を身につけ、医療的ケアについても学びます。高校2、3年生では、実際の福祉施設において介護実習を52日間行います。

高校で福祉を学ぶことでマナーなども学ぶことができ、社会に出てから役に立ちます。将来、介護福祉士として活躍するために、介護福祉士国家試験合格に向けて補習も実施しています。合格するのは簡単なことではありませんが、目標を持って一生懸命勉強に取り組むことは達成感につながります。専門学校や大学で学んでも、同じ国家試験を受けることになります。有田中央高等学校福祉系列は介護福祉士への最短コースです。



「和歌山県学校教育ICTグランドデザイン」を策定しました

和歌山県学校教育ICTグランドデザインは、学校教育の情報化の推進に関する法律第9条第1項に定める【都道府県学校教育情報化推進計画】にあたるものです。令和6年度から令和9年度までの4年間を対象に、教育全体でICT活用教育に関する新しい概念を共有し、3つの基本方針を示した上で、本県の学校教育の情報化及びデジタル化に係る具体的な施策を掲げる計画として策定しました。



基本方針

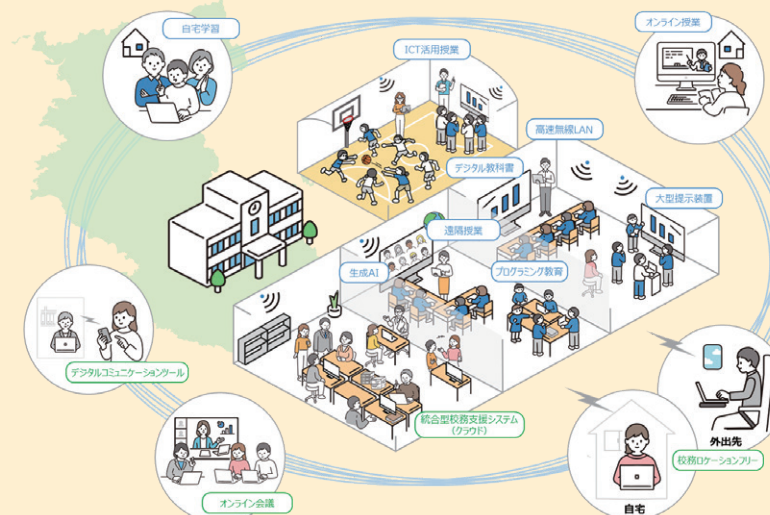
- 1 児童生徒の資質・能力の育成及び教職員の指導力の向上
- 2 いつでもどこでもつながる安全・安心なICT環境の構築
- 3 持続可能な組織体制の整備と教育DXの推進

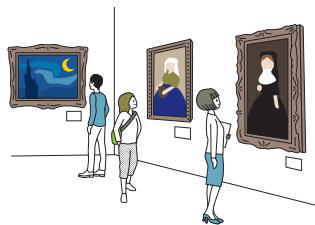
IC²T(アイダブルシーティ)とは

和歌山県がめざす教育を実現するためには、児童生徒・教職員だけでなく、教育に関わる全ての人々が、情報(Information)を正しく得た上で、失敗を恐れずに挑戦(Challenge)し、得たスキルやノウハウを活用しながら他者とのコミュニケーションを図り協働し(Communication)、技術(Technique)を学び磨き続ける必要があります。

この考え方を【IC²T(アイダブルシーティ)】という新しい概念として位置づけて【IC²Tをあたりまえに】のコンセプトのもと、基本方針に則り、本グランドデザインの取組を進めていきます。

IC²T をあたりまえに





展示・イベント

いずれも休館日は月曜日
(祝日の場合は翌平日)です。

※県立近代美術館は4月26日まで工事及び展示準備のため休館します。
※県立近代美術館・県立博物館・県立紀伊風土記の丘・県立自然博物館は有料ですが、高校生以下・65歳以上・障害者の方は無料です。詳しくは各館ホームページをご覧ください。

収藏品情報ポータルサイト「和歌山ミュージアムコレクション」をご活用ください!!

県立博物館施設3館(近代美術館、博物館、紀伊風土記の丘)の収藏品をインターネット上で広く公開し、誰もが気軽にアクセスできる場としてポータルサイト「和歌山ミュージアムコレクション」を開設しました。

本県が誇る芸術作品や歴史資料など約16,000件の情報が閲覧可能で、歴史や美術といった分野の垣根を越えた横断検索機能はもちろん、様々な作品・資料と出会うための仕掛けが盛沢山です。高精細画像コンテンツでは、収藏品の細かな部分まで拡大して鑑

賞することができるので、展示室で実物を見るときとは違った魅力の発見があるかも!?

また、学校や個人で参加できる博物館施設を活用した教育プログラムの紹介や県内のミュージアム情報なども掲載しています。

ぜひ本サイトをご活用いただき、まだ見ぬ収藏品との「出会い」をお楽しみください!気になる収藏品があったら、美術館・博物館等に来て、展示室で実物も見てね!!



▶ <https://wakayama.museum/>

県立博物館

和歌山市吹上1-4-14
☎073-436-8670

企画展

新収藏品展

開催期間 2月23日(金・祝)~4月14日(日)

和歌山県立博物館では、購入または寄贈によって館蔵品の収集を積極的に行っています。今回の企画展では、当館が平成29年(2017)度以降に収集した熊野三山や高野山、紀伊徳川家にかかわる資料、文人画、陶磁器など、和歌山の歴史を語る「新収藏品」をお披露目します。



奈良絵本 西行(和歌山県立博物館蔵)

県立紀伊風土記の丘

和歌山市岩橋1411
☎073-471-6123

春期企画展

黒江・商家のくらしと漆器

開催期間 3月16日(土)~6月16日(日)

江戸時代から漆器の町として知られる海南市黒江。古くから日用品の漆器づくりを通して江戸や九州との商いが盛んに行われた技術が、今も受け継がれています。今回の企画展では、黒江の町で行われる漆器づくりの道具と製品、商家で使われていた近世から昭和期にかけての生活用具を展示して、黒江の仕事とくらしの変遷を紹介します。



木貝膳・八十椀(製品・梱包)
(和歌山県立紀伊風土記の丘蔵)



金柑絵銘々盆
(和歌山県立紀伊風土記の丘蔵)

県立自然博物館

イベント情報

きのくに野外博物館 巨大アンモナイトをさがせ!!

白亜紀の海でできた地層の石を割って、アンモナイトなどの化石を発掘します。巨大なアンモナイトが見つかる!かも?

日時 3月24日(日) 13:00~16:00

場所 湯浅町栖原

対象 小学生以上、小学生は保護者同伴

定員 20名

申し込み締切り 3月3日(日)

申し込み方法 往復はがきに行事名、参加希望者全員の住所、氏名、年齢、学年、電話番号を記入の上、自然博物館まで。



海南市船尾370-1
☎073-483-1777



新属新種の大発見!

ワカヤマ ソウリュウ

平成18年に有田川町で発見された
モササウルス類の化石が、
新属新種として記載されました。

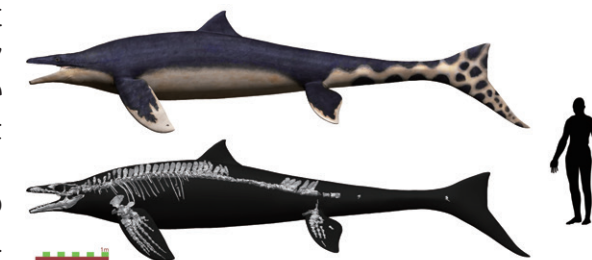
ワカヤマソウリュウの化石

和歌山に ちなんだ名前

新たについた学名はメガプテリギウス・ワカヤマエンシス。属名のメガプテリギウスは大きな翼という意味のギリシア語、種名のワカヤマエンシスは発見地である和歌山県にちなんでいます。また、より親しみを持っていただくために、通称を「ワカヤマソウリュウ(和歌山滄竜)」と付けました。名前に和歌山と入っている化石はこれが初めてです。

新発見が続々!

全体の8割もの部位が保存されたワカヤマソウリュウの化石からは、たくさんの方がわかってきました。大きな特徴は前後のヒレがとても大きいことです。頭の骨の長さよりも前後のヒレが大きいのは、モササウルスの仲間では初めて見つかった特徴です。また、肩関節の形から、前のヒレはかなり自由に動いていたことがわかり、大きなヒレを使ってペンギンやウミガメのように泳いでいたことが想像されます。他にも背骨の形から背びれがあった可能性が高いこと(世界初)、前向き両目を使って獲物を見ていたこと(世界で2例目)など、新発見がたくさんありました。



復元図(上)と産出部位(下) 作成 ©Takumi

自然博物館での展示は?

現在、実物の化石は自然博物館の収蔵庫にあり、展示されていませんが、常設展示には産状レプリカと、「和歌山の石」のコーナーには実物の歯化石がありますのでご覧ください。今後は特別展などでも実物化石を展示、公開できるよう検討していますのでしばらくお待ちください!

きのくに コミュニティ スクール

Vol.14
橋本市

「きのくにコミュニティスクール」とは、学校運営協議会を設置した学校（コミュニティ・スクール）とそれを支える既存の「共有コミュニティ」等との連携・協働により、社会総掛かりで教育を実現する仕組みです。

橋本市のコミュニティ・スクールは、平成31年度に全小中学校に学校運営協議会を設置し、基本的には中学校区に設置している共有コミュニティ（地域学校協働本部）との一体的推進に向けて、学校・家庭・地域・行政がつながり合いながら、「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」を目指しています。そこで、橋本市教育委員会では、行政の伴走支援の1つの取組として、令和5年度から「橋本市学校運営協議会連絡協議会」「橋本市共有コミュニティ推進協議会」を合同開催し、①橋本市の方向性の共有、②各中学校区・市内の情報共有、③研修による情報提供を3本柱に、共有から協働へつながるように、取り組んでいるところです。



▲協議会の合同開催



▲はしぼう

熟議を要に ～語り、深める～

橋本市教育委員会では、熟議を深めるために各校の必要に応じて、担当職員を学校運営協議会に派遣しています。

紀見小学校では、昨年度「地域と学校が一緒になってできること」というテーマで熟議を行い、キーワードを見える化し、それをもとに子供たちにつけたい力を明確にし、学校運営協議会委員と協働し、地域とのつながりづくりのためにKimiMartを定期的で開催しています。具体的には、地域の方に支えてもらって育てた農作物などと、アルミ缶・ベルマークなどを交換し、地域住民と子供が触れ合い、子供にまなざしを向ける機会を作っています。

また、応其小学校では、学校運営協議会で「児童の学力向上」について熟議を行い、低学年を中心とした放課後学習教室を実施しています。指導員は、コーディネーターや学校の呼びかけで元教員や地域の方が、指導員として集まってくれました。放課後学習教室だけでなく、保護者のボランティアの方が2年生の九九暗唱を聞く「九九チャレンジ」にもつながりました。

このように、既存の活動も含めて「何のために必要か」ということを、熟議を要として、地域や学校にふと立ち止まって考えてもらうようにしています。



▲放課後学習教室（応其小学校）



▲KimiMart（紀見小学校）

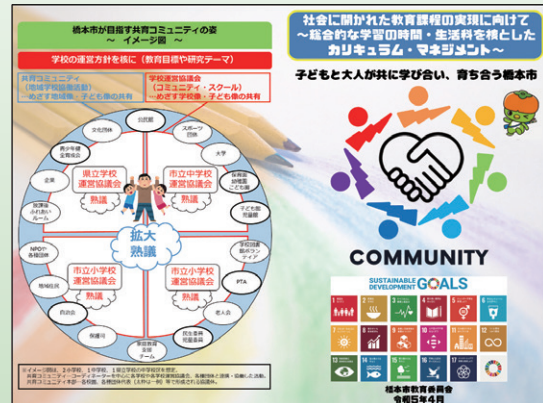


▲KimiMartゆるキャラ～紀見わん～

ネットワークづくり ～知り、つなぐ～

社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラム・マネジメントリーフレットの活用や、市民に共有コミュニティや学校運営協議会を知ってもらうための共有コミュニティ通信（全戸配布）、協働のまちづくりに向けた地域住民（学校運営協議会委員、コーディネーター、ボランティア等）と教員が参加できる研修会（ESDプログラム等）を開催しています。

また、中学校区で共有ミニ集会（拡大大学校運営協議会）を開催しているところもあり、「育てたい子供像」や「地域学校協働活動のあり方」を熟議しています。



▲カリキュラム・マネジメントリーフレット



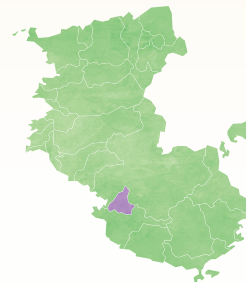
▲共有コミュニティ通信



▲偶田中学校区リーフレット

きのくに 教育めぐり

上富田町 教育委員会



和歌山県南西部に位置する「上富田町」。町の中心部を清流・富田川が流れています。町のヤマモモは、甘酸っぱさと独特の香りがあり、旬の時期が短い「ヤマモモ」ですが、加工品で親しまれています。



教育長挨拶

上富田町教育委員会
教育長
みやうち かずひろ
宮内 一裕



上富田町では「すすんで考える子・心豊かに活動する子・▲ひょうたんせんばい体をきたえる元気な子・ふるさとを誇りに思う子・視野を広く持つ子」をめざす子供像とし、地域の教育力を活かし、学校・家庭・地域が協働して、町全体で子供たちの成長を支えています。

また「だれもが健康で、生きがいのある充実した生活を送り、豊かな人生を楽しむ」ことができるような社会を目指して、生涯学習に基づく教育目標を定め、生涯学習の推進に取り組んでいます。

本に親しむ環境づくり ～様々な世界に触れ、豊かな心を育むために～

上富田町では読書活動の推進、本に親しむ環境づくりを進めています。管内小中学校では、町立図書館や読みきかせボランティアの活用をはじめ、保護者や教職員が協力し、使い勝手や居心地のよい図書館を創る等様々な取り組みを進めています。

また「読書マラソン」や「きいちゃん読書手帳」の活用等、読書記録や感想を書く活動にも力を入れています。

選書についても、教職員だけでなく、子供たちの投票によって本を選び購入する「選書会」を行う事例など、子供の読書意欲を高める工夫が取り入れられています。

各校とも限りある予算を有効に活用するとともに、地域と連携したり、各種団体事業を活用したりしながら蔵書の充実や豊かな読書活動を進めています。

本が子供たちの居場所を創り、豊かな心を育ててくれることを願い、今後もアイデアを出しながら取り組みを進めたいと考えています。



生馬公民館事業「寺子屋塾」

当町には4つの地区公民館があり、親子ハイキングや工作教室など各地区公民館で特色ある事業を展開しています。

「寺子屋塾」は、平成21年に「きのくに共有コミュニティ推進事業」の一環として開設された生馬公民館の特色ある活動の1つです。

生馬小学校児童を対象に、毎週水曜日の放課後に硬筆指導等を行っています。地域ボランティアの皆さんが、硬筆指導の補助や自由遊びなどで、子供たちと積極的に関わってくれています。まさに、地域の力を活かし、学校・家庭・地域が協働して、地域全体で子供たちの成長を支えています。



高校生の就職事情

～就職を希望する高校生とその保護者の方へのメッセージ～



教育長 宮崎 泉 Miyazaki Izumi

今回は高等学校卒業生の就職事情を取り上げてみる。高校生の就職を考えるに、重要なことが三点ある。

まず初めに、企業と生徒本人が相思相愛であること。次に、今後の和歌山県の産業界にとって有用と思える人材を養成すること。そして、もう一つは高卒求人数に見合う就職希望者がいること。

まず、相思相愛については、生徒が希望する企業を受けられるよう、学校推薦以外に、複数応募ができるよう企業や団体に働きかけをしている。複数応募自体は多くの求人企業で可能となったが、まだまだ利用する生徒は少ないのが現状である。まずは環境を整えていきたい。

人材の育成については、今和歌山県では、例えば工業系の学科が大小含めて5校にある。この1年かけて大学高専の教授陣や企業・研究機関の方々が一堂に会するワーキンググループを立ち上げ、議論を重ねている。その中身は、今後日本はどんな産業分野に力を入れていくのか、その上で高校の専門学科・コースは現在の時代の要請に合っているか、今後必要とされる技術の習得にはどういふことをすれば良いのか、など工業科の充実に向けた検討である。

また、農業科もしくは農業コースのある4校では、これらの高校と県立の2年制の農林大学校が連携して5年間の一貫教育を実施

している。さらに学びたい人には大学3年生への編入が可能となるし、就農を志す人には、より専門的な栽培方法等の探究などを行うことができる。また、県の試験場や研究機関とも連携し、高校の授業の充実などを図っている。

さらに、商業科や情報、芸術、スポーツなどの分野でも各学校で様々な工夫を凝らし高校の魅力を高め、社会に貢献できる人材が育つような仕組みを考えている。

ここで大きな壁に当たっているのが人員の充足である。これは非常に困難な問題である。高校卒業時の進路はもちろんその生徒の問題であり、家族の問題である。我々ができることの一つは、就職希望者の希望をできる限り叶えられるよう努力することである。それと同時に正しい情報を、必要とする方々に正確、迅速に示すことである。

もう一つは、中学校から高校に至る進路選択である。一人一人の特性や意志を尊重した選択が可能となるよう取り組んでいきたい。

ちなみに現在の公立高校からの就職希望者は約1,300名。それに対して高校卒業生に対する求人倍率は2.5倍以上である。彼らにとっては、和歌山県の企業から熱い視線が向けられているのがチャンスである。これら金の卵たちを教育界はもちろん、県民みんなでバックアップしていきたい。

TOPICS 01

和歌山県教育委員会から補充講師登録のお知らせ

和歌山県では、講師登録者を募集しています。学校で勤務してみたい方はぜひご登録ください。

- 募集区分 常勤講師、非常勤講師
- 応募資格 それぞれに必要な資格・免許を有する方
- 応募書類配布 和歌山県教育委員会教職員課のWEBサイト



- 問合せ先 小中学校希望: 紀北(有田地方以北) → 紀北教育事務所
紀南(日高地方以南) → 紀南教育事務所
県立高校・特別支援学校希望(全県) → 教職員課

申し込みは上記各所まで応募書類を郵送もしくは持参のこと。

熱意のある先生



求む!

TOPICS 02

高校生の皆さんへ 奨学金・給付金等のお知らせ

和歌山県では、高校生の皆さんが安心して学べるよう、次のような奨学金や給付金の支援制度があります。*各制度には支給要件があります。

1 高等学校等就学支援金

公立高等学校の授業料(私立は授業料の一部)の負担が不要となります。

2 高校生等奨学給付金

教科書費、教材費など授業料以外の教育に必要な費用を給付します。

3 修学奨励金(奨学金)

高等学校等で学ぶための費用を貸与します。(無利子貸与)

4 和歌山県大学生等進学支援金

低所得世帯かつ大学等への進学意欲と能力が高い者に年間60万円を最大4年間貸与します。(選考検査有り。条件により返還免除有り。)

5 修学奨励金(進学助成金)

大学等に進学するにあたり転居が必要な者に一時金を貸与します。(無利子貸与)

6 高等教育の修学支援(授業料等減免・給付型奨学金)

要件を満たす大学生等に授業料等の減免や奨学金の給付をします。

安心して
学ぶために

安心して
大学等へ進学

問合せ先

- 1 公立 県教育庁総務課振興班 / 073-441-3646
- 2 公立 県教育庁生涯学習課奨学班 / 073-441-3728
- 3~5 県教育庁生涯学習課奨学班 / 073-441-3663
- 6 文部科学省特設サイト「高等教育の進学支援新制度」(https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm)

- 私立 県文化学術課学術振興班 / 073-441-2098
- 私立 県文化学術課学術振興班 / 073-441-2098

